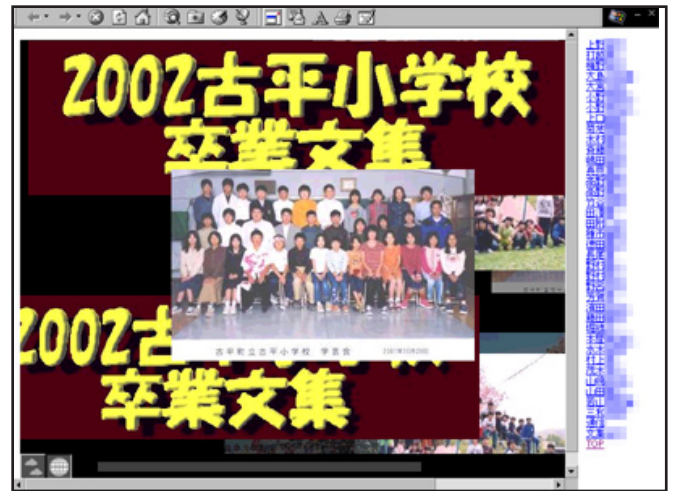


# 学級CD文集を作ろう

北海道 古平町立古平小学校 三和史朗

1. 授業実践単元 「学級CD文集を作ろう」
2. 領域 総合的な学習の時間（情報教育）
3. 6年生
4. アプリケーション  
Adobe GoLiveCS（アドビゴーライブ）
5. ねらい
  - ①学級卒業文集をホームページ形式で作成し、全員の作品を共有することができる。
  - ②今までの作品などをわかりやすいように整理し、自分のホームページを作ることができる。
  - ③ホームページの形式を理解し、ファイルのパスやリンクの概念を理解することができる。



## 6. 活動の流れ

- ①卒業生の作品を参照し、学級CD文集というものはどういうものか理解する。
- ②基本的なファイルの提出方法などを確認し、マニュアルを見ながら作品を作る。
- ③フレームができあがったら、随時更新されていくCD文集を参照し、互いに高めあう。
- ④できあがったCDにラベルを貼る（印刷する）

## 7. 授業のコツ

ホームページを作るには目的（ゴール地点）が大切です。何のために作るのか。学級文集をCDで作成して永久保存！紛失してもコピー可能！カラー画像もふんだんに盛り込んで、個性あふれるページのコンテンツを作りましょう。

児童の作業は、発想支援マニュアルを順番に使用させて下さい。ただ、マニュアル通りの画一的なページ構成にならないように支援する必要があります。指導者としては、以下の項目についての作業を行います。データの提出方法の確認・徹底。フレームを利用した表紙ページの作成。名簿からのリンク作業。データの提出の度に、随時更新されていくような、ファイルサーバーのアクセス権の制御。何ととっても、CDという形になるものを持って卒業するぞ！という意気込みが大切です。

## 8. 授業実践者・マニュアル作成 三和 史朗 北海道古平町立古平小学校

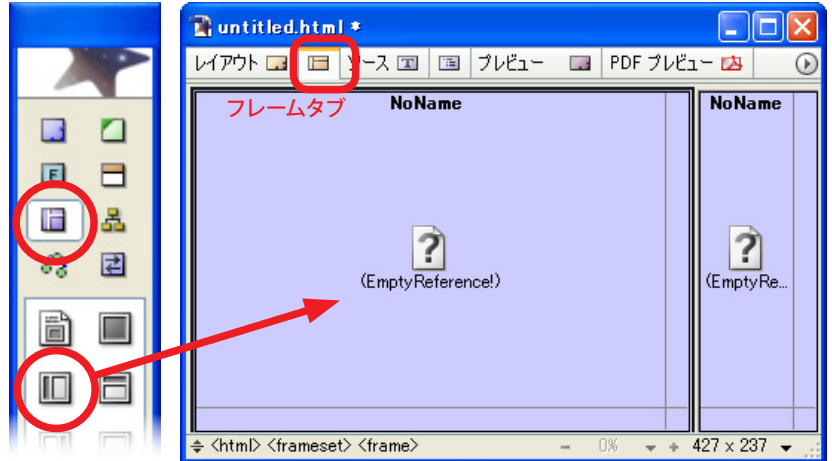
# 学級CD文集を作ろう

北海道 古平町立古平小学校 三和史朗  
KEY WORD - フレーム ターゲット

## ①フレームを利用した表示を作成します。

右側に名簿、左側にメインページを組む場合、オブジェクトパレットでフレームを選択し、図のフレームセット（2列、右可動）を新規ページにドラッグアンドドロップします。

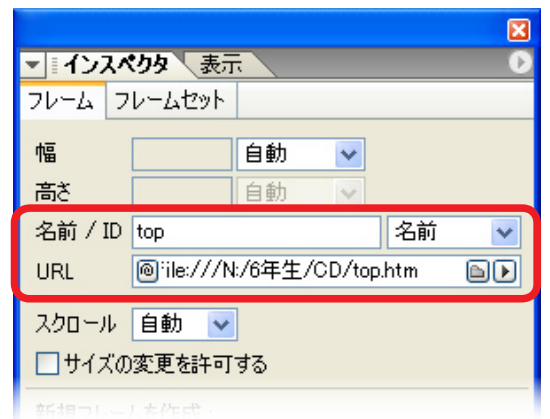
新規ページはフレームのタブを選択してからドロップしてください。  
するとページに仕切りができます。



## ②名簿、トップ各ページを作成します。

フレームを作った最初のページ全体を index.html として保存します。次に、meibo.html（名前をクリックするところ）と、最初に左側に表示する top.html ページを作成して保存します。

③表紙ページの左側をクリックし、インスペクタのタブで、表示するページに top.html を指定します。「No name」となっている表示エリアの名前も top にしておきましょう。右側の枠も同様に、meibo.html が表示されるよう設定します。このようなエリアの名前は、menu などが一般的です。

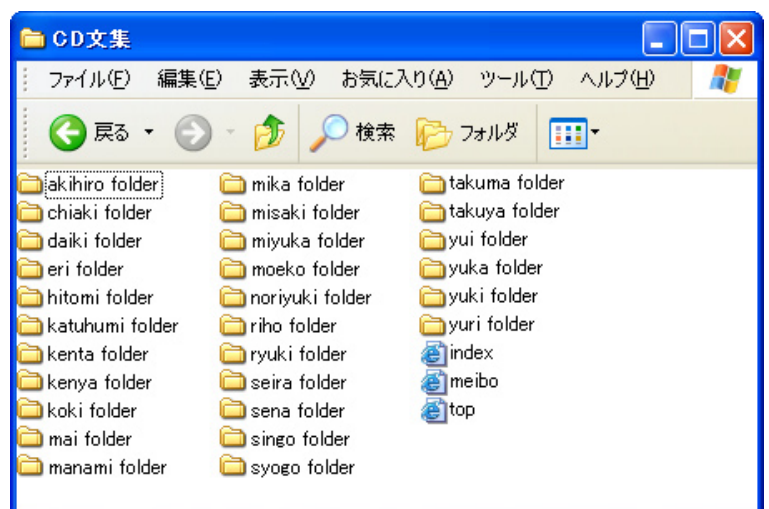


## ④次は名簿に各ページへのリンクをはります。

校内のファイルサーバーにはいろいろな形態がありますので、あくまでも参考ですが、CDに書き込む状態のフォルダを、右のような状態にします。つまり児童の作成したサイトごと一括で提出させるのです。それと同じ階層に、先ほど作った3つのファイルがあるという状態にします。

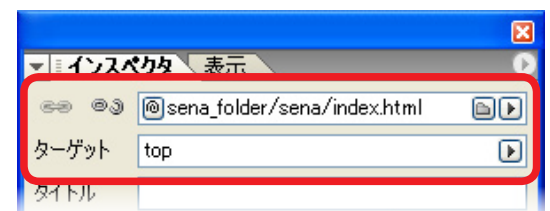
この状態ができあがったら、meibo.html ファイルのある各児童の名前を一人ずつドラッグし、リンクを貼っていきます。

ポイントは「ターゲット」を「top」に指定することです。



⑤これで、名前をクリックすると、画面の左側が top ページから児童のページに切り替わり、名簿は右側にそのまま残るといった仕組みです。

ファイルサーバのアクセス権については次頁を参照して下さい。

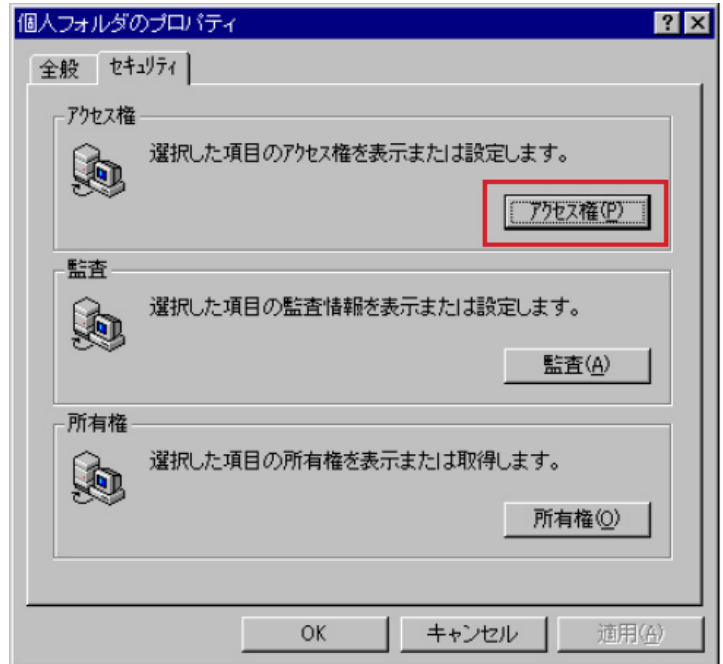


## ファイルサーバー内の特定のフォルダのみフルコントロールにする

校内LANでは、大概の場合ファイルサーバーに特定のアクセス権を設定している。これは特に児童・生徒が利用するフォルダ（ディレクトリ）に設定されていることが多い。例えば、教師用のディレクトリ（場所）には、児童用のマシンからはアクセスすらできないとか、児童用のファイルサーバーも、上書き修正ができないとかいったたぐいのものである。これは、他者からの閲覧を禁じたり削除修正などから守るという観点では、当然のことである。

しかし、実際に運用をしている上で一つだけこまることがある。CDRWを搭載していないマシンでは、データの保存はもっぱらFDに頼ることになる。中学年の段階ではFDレベルでのデータ保存で事足りることが多いが、高学年になってくると、活動によってはFDでは足りない場合が出てくる。また、活動も数時間にまたがり、データを何度も修正していくようなことは頻繁に出てくるのである。

そこで、特定のフォルダのみ修正を許可する設定を行う。これは特にその一単位授業のみで行い、授業終了後にはその設定を解除するくらいの慎重さが欲しい。特に複数の学級がある学年だと、誤って削除されてしまう可能性を否定できないからだ。



授業開始時に、サーバーマシンからフルコントロールにしたいフォルダに行く。右クリックでプロパティを開き、セキュリティのタブに行く（上図）。アクセス権をクリックし、児童として設定されているユーザーをダブルクリック（中図）（この時にGoLiveの場合はサブディレクトリのアクセス権にもチェックを入れておく）フルコントロールにチェックを入れOKで完了。授業終了時には同様にして、フルコントロールを外し、特殊なアクセス権を復元しておく（下図）。

